

シリーズ 「放課後子ども教室推進事業」

(初中教育ニュース(初等中等教育局メールマガジン掲載))

【第2回】

放課後子ども教室を開設して

山形県尾花沢市立常盤小学校長 阿相 利幸

常盤小学校では、尾花沢市教育委員会のご指導とご支援をいただき、平成19年11月から、主に定期バスを利用して下校する子どもたちを対象に、学校の図書館で「放課後子ども教室」を開設しています。原則として、毎週火、水、木曜日の午後4時から6時まで、日常的に宿題や読書を行うほか、読み聞かせ、折り紙、昔の遊び、とんと(※1)昔などの体験活動も取り入れています。地域の方からは、日常の活動の見守りや体験活動の指導者として、十数名の方々から参加をいただいているところです。

この教室を開設することで、次のような良いことに結びついていると感じています。

一つは、学校での取り組みに対して、地域の方の協力を得ることができたことです。

二つ目は、地域の方に、日々の学校の様子や子どもたちの様子を見ていただく機会を得たことです。

三つ目は、子どもたちと地域の方のふれあいの機会を得たことです。

四つ目は、子どもたちに挨拶や礼儀などの基本的なマナーが育っていることです。

そして、五つ目は、これらをまとめて、学校が地域から元気をいただいているということです。

この教室は、今年度も5月より開設されておりますが、バス利用の子どもだけでなく、より多くの子どもたちを対象にした事業展開、地区民や関係機関等への更なる周知など課題もあります。

これらの課題を一つ一つクリアしながら、子どもたちの笑顔あふれる「放課後子ども教室」を目指していきたいと思っています。

※1＝地域のお年寄りなどが民話を語る活動のこと。「とんと昔」で始まることからこう呼ばれる。

(初中教育ニュース(初等中等教育局メールマガジン)第90号に掲載)